

# 専徳寺報

第452号

令和2年4月27日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

〒740-0044 岩国市通津2764  
☎0827-38-1124 FAX38-1000

http://sentokuji-iwakuni.net/

専徳寺

検索

## 法座中止のお知らせ 「宗祖降誕会法要」

五月に開く予定でした宗祖親鸞聖人のご降誕（5月21日）を喜ぶ「宗祖降誕会」ですが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、三月に続いて法座を中止いたします。

ご理解のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 如来・人・言葉 117

宗祖降誕会にご出講くださる予定でした、北嶋文雄先生のご法話を掲載いたします。

次の親鸞聖人のご和讃（和語の讃歌）をご覧になってからお読みください。

○如来ノ作願ヲタズヌシバ  
苦惱ノ有情ヲステズシテ、  
廻向ヲ首トシタマヒテ、  
大悲心ヲバ成就セリ、

【親鸞聖人「正像末和讃」より】

【現代語訳】阿弥陀さまの誓願を発されたいわれを尋ねますと、迷いに苦悩する私たちを見捨てないで、如来は長い間の功徳を私達にふり向けることを慈悲の第一として、大悲の誓願を成就してくださいました。

如来の作願を  
たづぬれば  
苦悩の有情を  
すてずして  
廻向を首と  
したまひて  
大悲心をば  
成就せり

## お母さんの「さん」

北嶋文雄

### 親心のはたらく証拠

親の名告りは、実に味わい深いものです。という名も、母親は子どもに「おかあさんよ」と名告りますが、「おかあさん」の「さん」という言葉は、本来よぶ側が用意するものです。それを名告る側が用意したら、おかしなことになります。たとえば、「私は北嶋さんです」と名告ったら、おかしいのと同じです。

けれども、母親は「おかあさん」と名告ります。一体、「おかあさん」という名告りは何なのでしょう。それは、母親は最初から子どもの立場に立って、名告っているのです。

「さん」という言葉は、よぶ側の子どもが用意しなければなりません。でも、それができない子どもに先立って、「おかあさん」と名告っているのです。

つまり、その名告りには、「このように、よんでおくれ。私を頼っておくれ。いつでもどこでも一緒だよ」という親心があるのです。ですから親の名告りはそのままだが親心いっぱいのおびかけなのです。そのよびかけを聞いて、子どもは安心します。その安心してはるまが、親を頼っているすがたです。その頼っているすがたが、親心のはたらくしている証拠です。実に、親を頼る心まで、親が与えてくれるのです。

### 南無の心も「用意」

このように、「おかあさん」という名告りは、最初から子どものためであったのです。ところで、南無阿弥陀仏という名は、最初から私たちのための名告りであったことを、親鸞聖人は「廻向を首としたまひて」と示されました。

阿弥陀さまは、私たちに南無阿弥陀仏と名告られたのですが、南無は「おまかせします」という意味ですから、本来は私たちが南無の心を用意しなければなりません。

けれども、南無阿弥陀仏の南無は、阿弥陀さまが用意くださっています。最初から私たちの立場に立って、名告られたのです。まかせの心を起こすことができないう私たちのために、阿弥陀さまが先立って南無阿弥陀仏と名告られたのです。つまり、その名告りには、「このように、よんでおくれ。私にまかせておくれ。いつでもどこでも一緒だよ」というお慈悲があるのです。ですから南無阿弥陀仏は、



2019年度 門徒講金決算

Table with 3 columns: 費目, 決算額. Rows include 門徒講金, 現金, 振替, 貯金利息, 会館利用費, 繰越金, 歳入合計.

2020年度 門徒講金予算

Table with 3 columns: 費目, 予算額. Rows include 門徒講金, 現金, 振替, 貯金利息, 会館利用費, 繰越金, 歳入合計.

Table with 3 columns: 費目, 決算額. Rows include 納付金, 印刷費, 通信費, カレンダー費, 教化助成費, 事務費, 振込手数料, 火災保険, 核家族対策費, 本堂冷暖房, 歳出合計.

Table with 3 columns: 費目, 予算額. Rows include 納付金, 印刷費, 通信費, カレンダー費, 教化助成費, 事務費, 振込手数料, 火災保険, 核家族対策費, 予備費, 歳出合計.

Summary table with 3 columns: 項目, 金額. Rows include 収入合計, 支出合計, 差引額.

残金 618,771 円

2019(令和元)年度の決算書は適正であることを認める

令和 2 年 4 月 17 日

監査 神日隆司 監査 浅井 佐

そのままがお慈悲いっばいのよびかけなのです。そのよびかけを聞いて、安心します。その安心しているままが、阿弥陀さまにまかせているすがたです。そのまかせているすがたが、お慈悲のはたらいている証拠です。実に、まかせせる心まで、阿弥陀さまが与えてくださったのでした。

苦悩する者のために

「誰も私のことをわかってくれない...」と、愚痴をこぼすこともあります。「こんなはずじゃなかったのに...」と、悲嘆にくれることもあります。それがどうにもならないことだとわかっていても、弱々しく涙を流しながら生きていくのが、私たちの現実です。悲しみに沈む時、苦しみにあえぐ時、心の底は一人ぼっちです。誰も知ることはできません。そういう中で、たったおひと方、この悲しみ苦しみの境界をお知りになり、涙されたのが阿弥陀さまでした。そして、「悲しき者よ。どんな時も、あなたを見捨てない」と、南無阿弥陀仏とはたらきかけてくださっていました。私たちの現実、苦悩の現実です。しかし、今ここに阿弥陀さまが一緒です。苦悩する涙の中で、お慈悲の深さが味わえてまいります。



(本願寺新報 平成22年6月1日号)

寺内だより

み仏にいだかれて「葬儀勤修」

3月11日御往生 黒磯 森本 公之様 (89) 喪主 森本 泰作様

3月20日御往生 浪の浦 神野 信美様 (90) 喪主 神野 典彦様

3月27日御往生 新町 田中 敏生様 (71) 喪主 田中 蔵生様

ご恩を偲びました (法事勤修) (3月〜4月19日)

- 【通津】村重良子 3・50・150、吉兼伸子 3、時藤和久 3、村田昭 1、竹重則親 13、米本忠孝 25、岡崎幸雄 100、竹原俊明 3、北本征夫 25、中本絹代 17、村重正一 7、里原経祥 100、村本雅信 17、津秋武彦 13・25、舛本マスコ 13・100、【保津】上田浩之 3・50、山根輝子 33、松宮透高 17、【青木】村中恒友 1、重岡春雄 100、豊嶋誠 7、山崎浩 1。1、品川悦子 1、松村光昭 13、【黒磯】森重好子 50・50・150・150、藤尾英雄 3、【藤生】白木研二 13、白木規晴 33、【由宇】前田令子 3、【六呂師】藤木恵美子 25、【市内】松井源輝 33、土井裕子 1、村岡福夫 7、【県外】野村真理 13、蔵田潤 1

お説びと訂正

前回の寺報(451号)の「法事勤修」にある【長野】三井一彦様13は、【千葉】三井道雄様13の間違いでした。大変失礼いたしました。また「葬儀勤修」の「池田勉様」のご命日を「2月28日」に訂正いたします。